

## ◎ 平成24年度分決算の常任委員会における審査の主な内容 ◎

一般会計・特別会計等の各会計決算について、議会は予算目的に沿って適切に執行されたかどうかを毎年度、審議します。本年度は、10月23日から29日まで決算審査が行われ、各常任委員会において認定されました。

### 総務委員会

総務費において、長崎伝習所費、情報システム推進費及びポスター掲示場設置費において不用額が生じた理由と予算計上の際の考え方について慎重に審査しました。

次に、歳入において、収入未済額の縮減に向けた取り組み状況、市税収入の今後の見通し及び収入増対策について種々議論が交わされました。

委員会では、税の公平性や自主財源の確保の観点から、収入未済額の確実な徴収に努めてほしい、市民に寄り添う視点を忘れず、生活困窮者の生活再建に取り組みながら不納欠損や収入未済額の減少に取り組んでほしい、厳密な積算を行い不用額が生じないような予算計上に努めるとともに、扶助費や人件費といった義務的経費のなお一層の削減を図ることにより、経済の活性化につながる投資的経費を確保してほしい、事務事業の推進に当たっては、「ムダ」の検証を行い、効率的に成果が上がるよう市長を先頭に全庁一体となって施策の実現に努めてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、異議なく本決算を認定しました。

### 教育厚生委員会

民生費において、保育所待機児童解消に向けた今後の取り組みなどについて慎重に審査しました。

次に、衛生費において、健康診断の受診率が低いことについての分析状況などについて慎重に審査しました。

次に、教育費において、児童生徒がいじめなどの相談をしやすいつ体制づくりなどについて慎重に審査しました。

委員会では、平和発信の充実と次世代の国際的人材の育成に努めてほしい、障害者就労支援事業については引き続き努力してほしい、保育所待機児童の解消に努めてほしい、各種健康診断の受診率の向上など目標達成に向けて努力してほしい、福祉保健事業における地域間格差の是正に配慮した予算の執行に努めてほしい、学校図書館司書の増員と同書などの待遇を改善してほしい、不登校対策については、児童生徒やその保護者に寄り添った支援を行ってほしい、各事業の予算編成時には十分な検討・精査を行い、限られた財源の有効活用に向けてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、異議なく本決算を認定しました。

### 環境経済委員会

衛生費において、さくらの里管理委託費用の積算根拠、管理運営の状況、今後の管理方針の検討状況などについて慎重に審査しました。

委員会では、さくらの里管理委託については過去の経緯を踏まえ、今後の管理について早急に方向性を定めてほしい、負担金・補助金については使途を明確にし、効果の検証や庁内での十分な見直しを行い有効に活用してほしい、また、支出の流れを明確にし、市民から誤解を招かないように透明性の確保に努めてほしい、今後10年で本市が大きく変わっていく中で、建設業や造船業における後継者の育成や技術の開発など人材の育成に取り組んでほしい、来年度の国体に向けて、昨年度及び今年度の事業の検証を踏まえ、国体で訪れる方への「おもてなし」として、新しい事業に取り組んでほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、異議なく本決算を認定しました。

### 建設水道委員会

土木費において、長崎県道路協会負担金などの各種負担金について、交付団体の活動及び運営状況、負担金の積算根拠、今後の推移見込み及び負担金支出の必要性、市道トンネルの点検における業務委託の内容と今後の実施計画、市営駐車場のうち駐輪場への時間料金制導入に向けた検討状況、コミュニティバス等の路線拡充及びバス停の整備を進める考えの有無、バス待合所維持管理費が当初予算から大幅に増額となった理由、屋外広告物対策費において、現状に沿った委託料の支出となるよう見直す考え、市営住宅における遊休駐車場の活用方針、住宅管理費において不用額が発生している理由と当初予算積算の考え方、借り上げ公営住宅の入居状況及び借り上げ期間などについて慎重に審査しました。

委員会では、全般に不用額が多くなっていることから、予算積算の考え及び入札のあり方について全庁的な問題として他部局とも意見を交わし、本市の経済浮揚のため改善に取り組みしてほしいとの要望を付した賛成意見が出され、異議なく本決算を認定しました。